

終わりがかと思いきや7次8次……と続いてきたIT導入補助金ですが、予算の関係上いよいよ今度こそ次の12月18日締切の9次が最終申請となります。

コムデックを通して申請いただき、採択されたお客様も20社を超えました。申請で人気のツールは勤怠管理クラウドのKING OF TIME！コロナウイルスの影響により売上等が落ち込む中で、各個人の労働時間を把握し、会社全体で人時生産性を上げていくためのツールとしてのご活用が増えております。

もはや使うのが当たり前となりつつあるIT導入補助金はこれが本当に最後のチャンスです、どうぞお見逃しなく！

人気申請ツール TOP3

- 1 KING OF TIME
- 2 zoom
- 3 LINE WORKS
キントーン
kintone

社員紹介

新卒入社6年目。若手リーダーの「佐田 薫士」

今月から、コムデックの社員を毎月一人ずつご紹介していきます！プロフィールを見てみると、思わぬ共通点が見つかるかも…！？

こちらでご紹介するメンバーでみなさまのDX化を全力でサポートさせていただきますので、よろしくお願いたします。



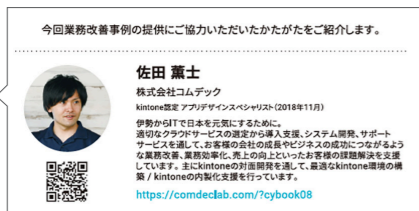
名前： 佐田薫士 (さた くんじ)
年齢： 27歳 山羊座
出身： 多気町
出身中学： 勢和中学校
出身高校： 鈴鹿工業高専
趣味： 音楽

01 皆さんにお伝えしたい
最近取り組んでいる仕事

サイボウズ社出版の業務改善 NOTE Vol.8 に掲載いただきました。サイボウズ商店でぜひお買い求めください
(※残念ながら印税は入ってこずボランティアです)



サイボウズ商店

02 皆さんにお伝えしたい
個人的な話題

2人目の子供が生まれました。初の子女の子なのですが、男の子と勝手がちがうので、周りに教えてもらいながら日々てんやわんやしてます。イクメン目指します！



日々、kintone 業務改善の仕組みづくりをご支援させていただいています。最近だと、皆様に kintone の自動登録、自動集計の仕組みをご提供できるように検証を進めています。僕自身ひたすら、データ登録する作業も嫌いではないんですが、時間がなくて後回しにしてしまうので、その時に仕事を終わらせられるようにまずは自分の仕事の自動化…に挑戦中です。



Imadoki

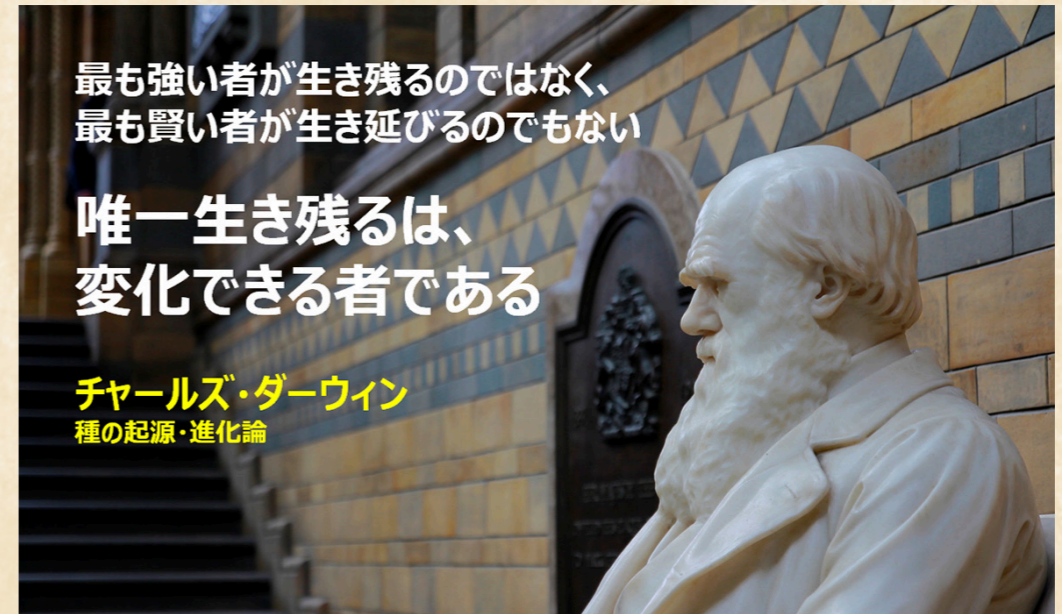
2020 December 12

vol.68

最も強い者が生き残るのではなく、
最も賢い者が生き延びるのでもない

唯一生き残るは、
変化できる者である

チャールズ・ダーウィン
種の起源・進化論



コロナに始まり、コロナに終わる、大変な1年でした

2020年に最も売れた商品が「マスク」になると誰が予測できたでしょうか！？

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)」が全世界に感染拡大したことで、約6000万人の感染者と約150万の死者を出す大惨事となりました。

世界中で交通が遮断され、当地伊勢市でも一時は、観光客が激減というよりほぼゼロになり、内宮や外宮が無人となった風景に、涙する日があるほどでした。

しかしその一方で、「デジタル化が世界から10年遅れている」、「先進国の中で生産性最下位」などといわれている日本にもついにDX(デジタル・トランスフォーメーション)の大波がやってきました。

菅内閣の下で、「デジタル庁」が創設され、DXを進める企業に対する支援策が拡充される方針が決まるなど、コロナにより変化が加速されてきています。

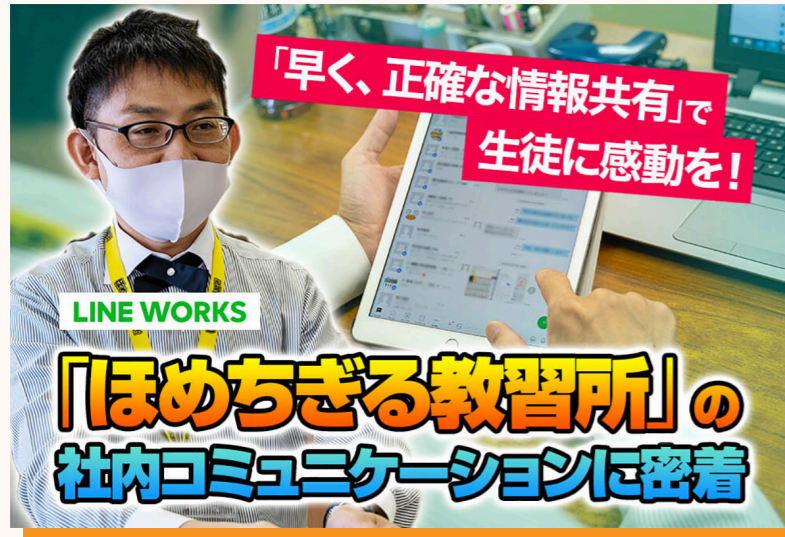
弊社でも、現在では週に20回を超えるZoom会議が行われるようになり、移動による時間や交通費が大幅に削減されただけでなく、県外取引の増加、会議の録画による共有・教育など多くの変化が起きています。

進化論で有名なダーウィンは「唯一生き残るのは変化できる者である」と言ったとされていますが、企業もビジネスパーソンも変化しなければ生き残れません。

御社はこの1年で何が変化しましたでしょうか？、あるいは、変化しようとしておられるのでしょうか？

我々コムデックはお客様がIT技術を使って変化するお手伝いをする会社として、お客様と共に在り、共に栄える思いで懸命にコロナ禍の1年を過ごしてまいりました。

まだまだ足りない面も多々ございますが、お客様のお役に立てるよう努めてまいりますので、来年もよろしくお願いいたします。



近年『ほめちぎる教習所』としてその名を全国にとどらせる南部自動車学校さま。伊勢市近郊の方ならお世話になった人も多いのでは無いでしょうか？

実はコムデックとのお縁は深く、コムデック創業時から南部自動車学校様の IT 機器面でサポートをご提供させていただいております。

今回はそんな南部自動車学校さまの社内コミュニケーション事情に密着！インタビューをさせていただく中で見えてきた、「電話・掲示」中心の情報共有から、「チャット・クラウドストレージ」へ移行したことによって生まれた変化をレポートいたします！

LINE WORKS 導入編

01 「内線をかけてもそこにいない」はチャットで解決！

「連絡しなくてはいけない人に連絡がつかない」「そもそも今どこで仕事をしているのかわからないから内線のかけようがない」社内の連絡が滞ると、「電話をかけなおす」「手書きのメモを残す」「判断してもらわないと仕事を進めることができない」といった理由から、仕事の効率が下がってしまいます。

70名近くの教習担当の先生が所属し、年間三千人近くもの生徒さんが卒業していく南部自動車学校さまでは、実習や講義を行う先生たちのいる場所は決まっておらず、まさに先ほど述べたような「内線をかけてもそこに居ない」といった問題が発生していました。

伝達が必要な人に個別に電話をかけていくと、2時間近くかかってしまうこともあったとのこと。

そんな現状を変え、「情報を伝えるための非効率な業務をやめ、より生徒さんとの時間を確保したい」ということで、南部自動車学校さまではLINE WORKSを導入。

急な教習予定の変更や、朝礼の内容もリアルタイムで全社員に共有し、朝礼に参加できない方やお休みの方にスムーズな業務の引継ぎができるようになりました。

その他にも、勤務のシフト連絡や、明日検定を受ける生徒さんの名簿の共有もLINE WORKSを通じて行われ、今では「LINE WORKSなしでの仕事は考えられない！」というところまでご利用いただいています。



02 チャット導入で生徒さんとのコミュニケーションも充実

LINE WORKSの導入により効果があったのは社内コミュニケーションだけではなく、個人のLINEとつながることができる唯一のチャットツールであるLINE WORKSを活用する事で、生徒さんともチャットでコミュニケーションを行うことができるようになりました。

例えば、受け持った生徒さんとLINE WORKSで繋がることで、生徒さんからもどういった風に教習を受けたいのかといったスケジュールの相談や、効果測定の問題に対する質問などがLINEを通じて送られてくるということです。

社外の協力業者の方ともLINE WORKSを通して連絡を取ることで、プライベートのLINEと切り分けつつ、気が付いた時にすぐ要件を送ることができるため、時間を有効活用できるようになりました。



Dropbox 導入編

01 公式 LINE×Dropbox で社内の手間を軽減しながら情報共有

LINE WORKSに続いて南部自動車学校様が導入されたのはDropboxです。生徒さんにより快適な教習体験を提供するために、例えば学校までの送迎バスの時刻表や、合宿時の献立表、開催するイベントといった、「教習をスムーズに受けるための情報」へのアクセスがもっと簡単にできると良いのではないかと結論にたどり着きました。

それまでは校内にいくつかある掲示板へとPOPを作って張り出すことで共有を行っていましたが、内容の変更があったとしてもきちんと伝わるか、見てもらえるかは定かではありません。

わざわざ掲示板を見に行かなくても、何なら家にもバスの運行表等の情報がわかれば便利なのではないか？そう考えた南部自動車学校さまでは、資料を簡単に共有できるDropboxと、以前から活用していた公式LINEを組み合わせる事で、公式LINEからワンタッチでバスの時刻表や献立表、学科時間割表を確認できる仕組みを構築しました。

公式LINEのメニューから該当のアイコンをクリックすると、Dropboxのリンクが開きます。そこを見れば、いつでも最新の情報を確認できるのです。

この仕組みにより、社内の事務担当の方はDropboxの情報を一度変更すれば良く、また生徒さんが情報にアクセスしやすくなったことにより問い合わせ連絡も減少したという嬉しい効果もありました。



02 「これ、Dropboxに入れておくよ！」社外へのファイル共有のスピード向上

これまで無料のファイルサーバーを使って社外の協力会社に大量の写真や共有していた南部自動車学校さま。フォルダにまとめて、アップロードして、メールを作って……と多くの手間がかかっていた業務が、今では共有済みのフォルダにどんどん写真を入れていけばいいということで、情報共有のスピードが格段に上昇したとのこと。

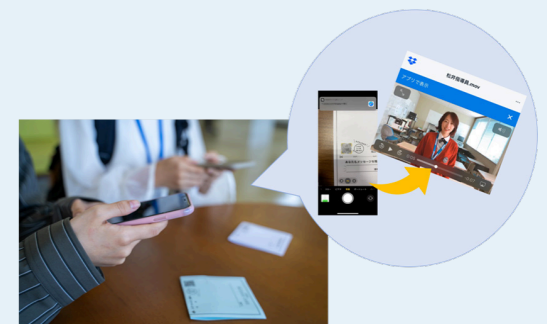
「一度送った後でも中身を変えることができるし、コメント機能をつけて修正点を即時共有することもできる。本当に便利で助かっています」とは、広報担当の方の言葉です。

03 情報共有のその先へ、「生徒さんのため」にできること

社内にDropboxが浸透するにつれて、先生たちから「生徒のために他にもっと活用できないか？」という声が出始め、生徒さんの検定試験の際に動画で応援メッセージを贈るといったアイデアが生まれました。

運転免許が取れるかどうかの最初の関門、初めての検定試験はだれしもが緊張するものです。生徒の緊張をほぐし、落ち着いていつも通りに検定に臨んでほしいという思いから、撮影した動画をDropboxに保存し、そのURLをQRコード化してメッセージカードに印刷。検定に臨む生徒さんが自分のスマホでQRコードを読み込めば、動画の応援メッセージが再生されます。

「ただ運転免許を取るだけじゃない、教習に感動を与えたい」そんな想いとDropboxが結びつき、「情報共有」に留まらない、心温まるコミュニケーションが生まれました。



DropboxやLINE WORKSを活用することで、生徒さんとの情報共有のみならず、社内外とのコミュニケーションを改善させた南部自動車学校さま。今後は「生徒さんが欲しい情報は何か？」をより深く考察し、欲しい情報に簡単にアクセスできるように仕組化を進めていくとのこと。

記事全文はこちら！

